

**コンパクトカメラの高倍率モデル “PowerShot SX70 HS” を発売  
光学 65 倍ズームレンズと映像エンジン DIGIC 8 を搭載**

キヤノンは、光学 65 倍ズームレンズと最新の映像エンジン DIGIC 8 を搭載したコンパクトデジタルカメラ “PowerShot SX70 HS” を 2018 年 12 月下旬より発売します。



PowerShot SX70 HS

“PowerShot SX70 HS”は、「PowerShot SX60 HS」（2014 年 10 月発売）の後継機種で、1 台で超広角から超望遠、さらにはマクロ撮影（接写）まで幅広い撮影領域に対応した高倍率モデルです。最新の映像エンジン DIGIC 8 や約 236 万ドットの高精細電子ビューファインダー（EVF）を搭載し、天体やスポーツの撮影など、小型ボディーながら高倍率を生かした幅広い撮影ニーズに応えます。

**■ 光学 65 倍ズームレンズにより幅広い撮影領域で高画質な撮影が可能**

広角 21mm から望遠 1365mm 相当<sup>※1</sup>までをカバーする光学 65 倍ズームレンズと有効画素数最大約 2030 万画素<sup>※2</sup>の CMOS センサーを搭載しています。また、デジタルズームを進化させた「プログレッシブファインズーム」機能により、画像の粗さを目立たせずに約 2730mm 相当<sup>※1, 3</sup>の望遠撮影が可能です。超広角から超望遠、さらにはマクロ撮影（接写）にも対応し、さまざまな画角で撮影を楽しむことができます。

**■ 本格的なファインダー撮影が楽しめる高精細 EVF を内蔵**

本格的なファインダー撮影が楽しめるよう、約 236 万ドットの有機 EL パネルを採用した 0.39 型の高精細 EVF を内蔵するとともに、グリップ部や電子ダイヤルなどの操作部材の配置を見直しています。また、EVF の接眼部に新たに備えた「アイセンサー」により、ファインダー表示とライブビュー表示を自動で切り替えることができます。

**■ 最新の映像エンジン DIGIC 8 の搭載による高精度な手ブレ補正と高速連写**

最新の映像エンジン DIGIC 8 により、高精度にブレを抑制する「デュアルセンシング IS」を実現し、静止画撮影時に 5 段分<sup>※4</sup>の高精度な光学手ブレ補正効果を実現しています。また、AF・AE（自動露出制御）連動で最高約 5.7 コマ/秒、AF・AE 固定で最高約 10.0 コマ/秒と従来機種に比べて連写性能を向上するとともに、高精細な 4K<sup>※5</sup> 動画/4K タイムラプス動画の撮影ができ、4K 動画から高い解像感を維持したまま静止画を切り出すことも可能です。

製品名	希望小売価格	発売日
PowerShot SX70 HS	オープン価格	2018 年 12 月下旬

※1 35mm 判換算。  
 ※2 総画素数約 2110 万画素。  
 ※3 記録画素数：L(ラージ)時において。  
 ※4 CIPA 規格準拠。  
 ※5 センサー中央部の画素をクロップした 4K (30P/25P) で撮影可能。

● 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター 050-555-90005  
 ● コンパクトデジタルカメラホームページ : [canon.jp/cdc](http://canon.jp/cdc)

## <主な特長>

### 1. 光学 65 倍ズームレンズにより幅広い撮影領域で高画質な撮影が可能

- ・ 広角 21mm から望遠 1365mm 相当までをカバーする光学 65 倍ズームレンズと有効画素数最大約 2030 万画素の CMOS センサーを搭載。幅広い撮影領域で高画質な撮影が可能。
- ・ デジタルズームを進化させた「プログレッシブファインズーム」機能を搭載。光学ズームの望遠端の 2 倍にあたる約 2730mm 相当でも画像の粗さを目立たせずに高倍率の撮影を行うことが可能。
- ・ 広角端で最短撮影距離\*0cm まで近づけるマクロ撮影（接写）にも対応。

※ レンズ先端より。



広角 (21mm 相当)



光学 65 倍ズーム (1365mm 相当)



プログレッシブファインズーム  
約 130 倍 (約 2730mm 相当)

### 2. 本格的なファインダー撮影が楽しめる高精細 EVF を内蔵

- ・ 約 236 万ドットの有機 EL パネルを採用した 0.39 型の高精細電子ビューファインダー (EVF) を内蔵。キヤノンの光学技術を結集した独自開発の接眼レンズを EVF に採用し、約 100% の高い視野率と周辺部に至るまで高い解像感を達成。
- ・ 高精細 EVF の搭載により、マニュアルフォーカス時に高精度かつスムーズにピント合わせができるため、高倍率撮影に好適。
- ・ EVF の接眼部に新たに備えた「アイセンサー」により、ファインダー表示とライブビュー表示を自動で切り替えることが可能。
- ・ 安定した撮影ができるよう滑らかな曲面でホールド感を重視したグリップ形状に加え、高精細 EVF を活用したファインダー撮影を前提としてダイヤル配置を見直すなど操作性を向上。
- ・ EVF をのぞいたまま、手でズーム操作ができる「ズームボタン」を鏡筒脇に新たに搭載。ズーム速度は「低速ズーム/高速ズーム」の 2 段階の切り換えが可能。さらに、マニュアルフォーカス (MF) 時には、距離設定を割り当てることが可能。



高精細 EVF

### 3. 映像エンジン DIGIC 8 の搭載による高精度な手ブレ補正と高速連写

- ・ 高精度にブレを除去する「デュアルセンシング IS」を採用。従来のジャイロセンサー\*1 による処理に加え、撮像センサーの画像情報から画像のブレ量を判断し、ブレを抑制する新アルゴリズムにより、静止画撮影時に 5 段分の高精度な光学手ブレ補正効果を実現。
- ・ 画像処理性能に優れた DIGIC 8 により、AF・AE (自動露出制御) 連動で最高約 5.7 コマ/秒、AF・AE 固定で最高約 10.0 コマ/秒の高速連写を実現。
- ・ フル HD の 4 倍の解像度である 4K (30P/25P) の高精細な動画撮影が可能。
- ・ 撮影した 4K 動画から PC などを使わず、カメラ操作のみで任意の 1 フレームを約 830 万画素 (3840×2160) の JPEG 画像\*2 として保存する「4K フレーム切り出し」機能を搭載。
- ・ 一定間隔で撮影した画像を自動でつなぎ合わせ、長時間の変化をコマ送りのような動画で短時間にまとめる「4K タイムラプス動画」機能を搭載。
- ・ 明るさやコントラストを自然な印象に自動補正し、白トビ、黒つぶれを改善する「オートライティング オプティマイザ」を搭載。特に「強め」設定では、「標準」設定に比べ、さらに明るい領域の階調を豊かに表現可能。

- 最新の RAW フォーマット「.CR3」をコンパクトデジタルカメラとして初めて採用。またデータ容量の軽量化を実現した画像タイプ「C-RAW」を追加。

- ※1 角速度センサー。回転角速度の測定を実現する慣性センサーの一種で、ある物体の角度が単位時間あたりどの程度変化しているかといった動きを検知。
- ※2 フル HD/HD 動画からのフレーム切り出しはできません。また、動画の 1 コマを静止画として保存するため、通常の静止画の画質とは異なります。

#### 4. Wi-Fi/Bluetooth など撮影後の楽しみを広げるネットワーク連携

- スマートフォンなどの携帯端末への接続手段として、Wi-Fi に加え、低電力で気軽に連携が可能な Bluetooth での接続に対応<sup>※1, 2</sup>。
- Bluetooth 対応により、事前設定をした場合にスマートフォンからの操作に応じてカメラとスマートフォンの自動接続が可能。また、画像や動画の転送を行う時など Wi-Fi 接続に自動で切り替わる<sup>※3</sup>ため、バッテリーの消費を抑制。
- Wi-Fi 接続時に、事前にカメラとペアリング<sup>※4</sup>が行われているスマートフォンに撮影と同時に画像を自動送信できる新機能「スマートフォンへの撮影時画像送信」を搭載<sup>※5</sup>。
- PC への自動画像送信アプリケーション「Image Transfer Utility 2」に対応<sup>※6</sup>。事前にペアリングした PC への画像と動画の自動送信を実現。また、PC へ送信された画像は、自動でクラウドへ送信することができ、簡単にデータのバックアップが可能。
- カメラとスマートフォンをペアリングすることで、スマートフォンの GPS 機能を利用し、撮影画像に位置情報を付加することが可能。また、ペアリング中のスマートフォンをリモートコントローラーとして操作することで、カメラと離れた場所からリモート撮影やリモート再生が可能。

- ※1 Bluetooth low energy 技術に対応。以下 Bluetooth と記載。Bluetooth 機能の動作条件は、接続機器が下記を満たすものです。Android の場合:Android5.0 以上で、かつ Bluetooth4.0 以上を搭載。iOS の場合:Bluetooth4.0 以上を搭載。ただし、上記の動作条件を満たす機器であっても、機種によっては、Bluetooth 接続ができない場合があります。Bluetooth 接続ができない場合、一部の位置情報付与の機能が使用できません。Bluetooth 接続ができない場合でも、機器と Wi-Fi 接続による画像の転送、リモート操作は可能です。
- ※2 カメラと携帯端末の Wi-Fi や Bluetooth での接続には、キヤノン専用アプリケーション「Camera Connect」のインストールが必要。「Google Play」「App Store」より無料でダウンロードが可能。なお、Bluetooth 接続には、事前にカメラと携帯端末をペアリングさせておく必要があります。
- ※3 iOS 端末の場合、端末側で切替操作が必要な場合があります。
- ※4 初回のみ事前に Bluetooth でのペアリングが必要です。
- ※5 オリジナルデータ (JPEG) やリサイズした縮小画像が送信可能です。
- ※6 キヤノンのホームページより「Image Transfer Utility 2」のダウンロード (無料) と、インストールが必要です。対応する PC は、下記を満たすものです。Windows の場合: Windows 7 (32bit 版) 以上の OS を搭載。Mac OS の場合: Mac OS X 10.10 以上の OS を搭載。2018 年 10 月 16 日現在。

#### 5. その他の撮影機能や特長

- 高倍率撮影時に手ブレを抑えて構図を決めることができる「フレーミングアシスト固定」機能が進化。手ブレを抑制しつつ、指定した追尾したい被写体を自動で画角の中心に保持することが可能。従来の「フレーミングアシスト探索/オート」と使い分けることで、手ブレの起きやすい高倍率でも快適な撮影が可能。
- カメラの向きを一定の方向に振りながら連写した写真をカメラ内で自動合成する「パノラマショット」を搭載<sup>※</sup>。横撮りだけでなく、縦撮りもできるため、多彩な写真表現が可能。
- ローアングルやハイアングル撮影時に画像を確認しやすい約 92 万ドットの 3.0 型バリアングル液晶モニターを搭載。
- 従来の UI から変更し、エントリーユーザー向け一眼レフカメラに導入したメニューと機能ガイドを表示する EOS 風の UI を採用。メニューの第一階層の段階でどのような設定が可能か簡潔に表示されるなど、簡単に操作が可能。
- メニューの撮影設定にある 6 種類の設定値から自分好みの画質設定を選択し、多彩な画作りを楽しむことができる新機能「スタイル設定」を搭載。

- ※ パノラマショットで撮影した画像はデータサイズが大きくなります。スマートフォンなどで画像が表示できない場合や、メモリーカードやスマートフォンなどから印刷する場合は、事前にパソコンなどでデータサイズを変更してください。

## <コンパクトデジタルカメラの市場動向>

2017年の世界市場規模は約1,350万台でした。2018年は約1,000万台を見込んでいます。  
(キヤノン調べ)

## <主な製品仕様>

<b>映像エンジン</b>		DIGIC 8
<b>イメージセンサー</b>	<b>カメラ部有効画素数(最大)</b>	約2030万画素 *画像処理により画素数が減少することがあります
	<b>サイズ</b>	1/2.3型
	<b>タイプ</b>	高感度CMOS(裏面照射型)
<b>レンズ</b>	<b>焦点距離(35mm判換算)</b>	21-1365mm相当
	<b>開放F値</b>	F3.4(W)-6.5(T)
	<b>ズーム倍率</b>	65倍
	<b>撮影距離</b>	0cm-∞(W)、1.8m-∞(T)、マクロ時は0-50cm(W)
<b>液晶モニター</b>	<b>画像サイズ、アスペクト比</b>	3.0型(約92万ドット)、4:3
	<b>方式</b>	バリアングル式
<b>フォーカス制御方式</b>		オートフォーカス、マニュアルフォーカス
<b>シャッタースピード</b>		1-1/2000秒(オートモード)、 15-1/2000秒(撮影モード:M、Tv)* *動画は、撮影状況によって、1/4000秒になることがあります。
<b>ISO感度(推奨露光指数)</b>		オート、ISO100~3200
<b>記録媒体</b>		SD/SDHC*/SDXC*メモリーカード ※UHS-Iカード対応
<b>ファイルフォーマット</b>		DCF準拠、DPOF対応(Ver.1.1)
<b>データタイプ</b>	<b>静止画</b>	JPEG(Exif2.31)、RAW(キヤノン独自:14ビット、CR3) *撮影時のRAW画像は12ビットAD変換が施されています
	<b>動画</b>	MP4(映像:MPEG-4AVC/H.264、音声:MPEG-4AAC-LCステレオ)
<b>記録画素数</b>	<b>静止画(4:3時)</b>	ラージ:5184×3888、ミドル:3648×2736、スモール:2432×1824
	<b>動画</b>	3840×2160(4K) : 30p/25p 1920×1080(Full HD) : 60p/50p/30p/25p 1280×720(HD) : 60p/50p *25p:25.00fps、30p:29.97fps、50p:50.00fps、60p:59.94fps
<b>バッテリーパック</b>		LP-E12
<b>大きさ(CIPA準拠)</b>		約127.1(幅)×約90.9(高さ)×約116.6(奥行)mm
<b>質量(CIPA準拠、バッテリーパック・メモリーカード含む)</b>		約610g
<b>その他の機能など</b>		Wi-Fi/Bluetooth対応

\* 記載データはすべて当社試験基準、またはCIPA規格/ガイドラインによります。

\* 大きさ、質量はCIPAガイドラインによります。

\* 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

## 新製品の参考価格のご案内

2018年10月16日  
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

本日発表した新製品の参考価格をご案内します。

製品名	発売予定日	価格	参考価格※ キヤノンオンライン ショップ販売予定価格 (税別)
PowerShot SX70 HS	2018年 12月下旬	オープン価格	62,500 円

※上記参考価格はキヤノンオンラインショップ(キヤノン直販ウェブサイト)における  
2018年10月16日時点での販売予定価格であり、各販売店での価格を拘束するもの  
ではありません。各販売店での価格は各店にお問い合わせください。

---

● 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター (コンパクトカメラ) 050-555-90005

---